特集

インフラの魅力が伝わる広報へ
～地域の成功例に学ぶ～

出前講座に参加した小学校を対象に実際の現場を見学。港湾整備のスケールの大きさを体感（本号Ｐ27～29「Show！楽♪港！（しょう！がっ♪こう！）」より）

【特集の趣旨】

我が国では、インフラが国民生活や経済活動に極めて重要な役割を果たしているにもかかわらず、そのことが十分に認識されておらず、逆にインフラ整備を負のイメージとしてとらえる状況が長く続いていました。

関係機関等では、これまでインフラ整備の必要性を一般の人に自らの目で見て、その役割に気づいてもらうように「伝わる」広報活動等が展開されてきました。また、各地域では、暮らしを支えているインフラの役割・意義・魅力等について住民の理解を得ることや地域の担い手を確保すること等に向けて、行政や民間団体により様々な手法で広報の取組が行われてきました。

昨今ではSNS、インターネット、テレビ、ラジオなどあらゆる情報発信手段を取り入れた広報活動等が行われていますが、狙いに応じてどのようにして効果的な広報活動を行うべきか、多くの全建会員にとって悩みの一つとなっています。

今号の特集では、関係機関のインフラの魅力が伝わる取組を紹介するとともに、地方整備局や地方公共団体で取り組んでいる広報活動として、メディアを戦略的に活用した事例、工事現場の見せ方を工夫した事例等を紹介します。

特集担当編集委員　野坂　周子
（国土交通省 大臣官房 技術調査課 技術企画官）

CONTENTS

共感を招くための「ことば」の洗練　8
鹿児島東西道路におけるバーチャルツアー　12
地域住民との交流を通じた道路整備の魅力発信　15
「川の国埼玉」海はないけど日本一の川がある　18
「山口きららインクルーシブパーク2022」社会実験　21
下水道×アート×SDGsプロジェクト　24
Show！楽♪港！（しょう！がっ♪こう！）　27
新時代の水産市場の魅力を発信する　30